

プレスリリース [令和 5 年 3 月 13 日]

(計 1 枚)

当事者の希望に伴走するためのメタバース (仮想空間) を活用した PX (patient experience 本人体験) 体験の実施

加賀市は、国立大学法人静岡大学、一般社団法人みんなの認知症情報学会と自立共生支援 AI を活用した健康長寿のまちづくりに関する連携協定をしております。

厚生労働省では、2025 年には約 700 万人（高齢者の約 5 人に 1 人）が認知症になると予測されており、高齢社会の日本では認知症に向けた取組が今後ますます重要になると言われております。

認知症の人が住み慣れた地域で当たり前に暮らし続けるために、誰しもが、認知症の人が生活における障害をどのように感じているのか知り、理解することがとても大切です。

今回、メタバースを活用し、認知症の人が体験している世界観（認知機能低下における生活障害の体験）を介護職、医療職が体験することで、更なるケアの質の向上に活かしたく、下記のとおり実証評価を行います。

ぜひ、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

記

日 時 令和 5 年 3 月 1 5 日（水）19 時 30 分～20 時

場 所 加賀市役所 別館 3 階 3 0 2 ・ 3 0 3

講 師 国立大学法人静岡大学 講師 石川 翔吾氏

内 容 VR ゴーグルを装着し、6 名が 1 グループとなり認知症人が体験していることをメタバース（仮想空間）に入り、体験します。

本件へのお問合せ先
加賀市市民健康部相談支援課 担当：西 TEL 0761-72-7851